SONY®

REF 2-546-655-**05** (1)

LCD Monitor

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

LMD-2140MD

安全のために

ソニーのモニターは正しく使用すれば事故が起きないように、安全には十分配慮して設計されています。しかし、内部に非常に高い電圧を使用しているので、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4 ～ 5 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。
7 ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期点検をする

5 年に 1 度は、内部の点検を、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

❶ 電源を切ります。
❷ 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
❸ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口までご相談ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


注意


火災


感電

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


ぬれ手禁止

行為を指示する記号


指示


プラグをコンセントから抜く

目次

⚠ 警告 4
⚠ 注意 4
使用上のご注意 7
　使用・設置場所について 7
　液晶画面について 7
　蛍光管について 7
　液晶ディスプレイパネルについて 7
　お手入れのしかた 7
　搬送について 7
　電源接続について 8
　壁やマウントアームに取り付けるときは 8
　複数台使用のお勧め 8
　廃棄するときは 8
　ファンエラーについて 8
　結露について 8
主な特長 8
各部の名称と働き 10
　前面 10
　入力信号と調整・設定項目 12
　底面 13
電源について 14
入力アダプターの取り付け 14
基本設定の選択 15
メニュー表示言語の切り換え 16
メニューの操作方法 17
ユーザーメモリーのロード 18
メニューを使った調整 19
　項目一覧 19
　調整と設定 20
　　設定状態メニュー 20
　　色温度メニュー 20
　　ユーザーコントロールメニュー 20
　　ユーザー設定メニュー 22
　　リモートメニュー 23
　　ユーザーメモリーメニュー 24
　　ユーザーメモリーのセーブ 24
　　入力設定メニュー 25
　　キーロックメニュー 26
　　ユーザーサービスメニュー 26
故障かな？と思ったら 27
保証書とアフターサービス 27
　保証書 27
　アフターサービス 27
主な仕様 28
寸法図 / 重量 33




下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。



3P-2P 変換アダプターを使用しない

3P の電源プラグを 2P に変換するアダプターは確実な接地・接続ができないため、感電の原因となることがあります。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
・設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。



通気孔をふさがない

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。
・壁から 10cm 以上離して設置する。
・密閉された狭い場所に押し込めない。
・毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
・布などで包まない。
・あお向けや横倒し、逆さまにしない。



表示された電源電圧で使用する

製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。
取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



指示

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口にご相談ください。壁面や天井などへの設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。また、1年に1度は取り付けがゆるんでないことを点検してください。



指示

接続の際は電源を切る

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



指示

指定された電源ケーブル、接続ケーブルを使う

この取扱説明書に記されている電源ケーブル、接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。十分注意して接続・配置してください。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。
また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。



指示

安定した場所に設置する

製品が倒れたり、搭載した機器が落下してけがをすることがあります。
十分な強度がある水平な場所に設置してください。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



指示

移動の際は電源コードや接続コードを抜く

コード類を接続したまま本機を移動させると、コードに傷がついて火災や感電の原因となることがあります。



指示

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間、掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。（有料）
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。



プラグをコンセントから抜く

入力アダプターを取り付ける際には電源を切って電源プラグを抜く

入力アダプターを取り付ける際にはモニターの電源を切り、電源プラグを抜いてください。モニターの電源を入れたまま入力アダプターを取り付けると感電の原因となることがあります。



指示

電源コードのプラグ及びコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまでさしこまないと、火災や感電の原因となります。

本機に使われている記号について

記 号	使われている場所	意 味
I	底面	主電源スイッチ 本機の主電源をオンにします。
○	底面	主電源スイッチ 本機の主電源をオフにします。
	底面	等電位端子
	底面	機能アース
	前面	明るさ調整
	前面	コントラスト調整
	前面	キーロック 各種設定項目の変更が効きません。

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。
他の機器には使用できません。

使用上のご注意

使用・設置場所について

次のような場所での使用・設置はお避けください。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内はとくに高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

液晶画面について

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を痛めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 固定された画像または静止画を長時間表示した場合、残像や焼きつきの原因となることがあります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

蛍光管について

本機は内部照明装置として専用蛍光管を使用しておりますが、この蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管に取り換えてください。蛍光管の交換については、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

液晶ディスプレイパネルについて

本機の液晶パネルは有効画素 99.99% 以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

モニターのお手入れについて

医療用液晶モニターの前面保護板は消毒を前提とした素材が使用されていますが、保護板表面には、光の反射を防止するため、特殊な表面処理を施してあります。保護板表面／本体表面の汚れをベンジンやシンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどで拭くと性能を損なったり、表面の仕上げを傷めたりすることがありますので、以下のことをお守りください。

- 清掃は 50 ～ 70v/v% 濃度のイソプロピルアルコールまたは 76.9 ～ 81.4v/v% 濃度のエタノールで保護板表面／本体表面を清拭法で清掃してください。
  なお、保護板表面を拭くときは、軽くなでる程度にしてください。（拭き取り力の目安は 1 N 以下です。）
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスなどの柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を少し含ませて拭きとった後、上記薬液を用いて清拭法で清掃してください。
  ベンジンやシンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどは保護板表面／本体表面を傷めますので、清掃や消毒には絶対に使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭かないでください。保護板表面／本体表面に傷が付くことがあります。
- 保護板表面／本体表面にゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

搬送について

- 運ぶときは、画面の下部を両手でしっかりもってください。落としたりするとけがや故障の原因となることがあります。
- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、本機用の箱とクッションを使用してください。

電源接続について

付属の電源コードをお使いください。

壁やマウントアームに取り付けるときは

本機を、壁や天井、マウントアーム、無影灯に取り付けて使用する場合は、必ず専門の業者にご相談ください。

複数台使用のお勧め

モニターが故障する場合を考え、人や財産の安全性に関わる用途や緊急かつ確実な映像再現が求められる用途でご使用の際は複数台のモニターを使用されるか、もしくは代替機を準備されることを強くお勧めします。

廃棄するときは

・一般の廃棄物と一緒にしないでください。
　ごみ廃棄場で処分されるごみの中にモニターを捨てないでください。
・本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。破棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

ファンエラーについて

本機には冷却用ファンが内蔵されています。「ファンエラー」という警告が出た場合は、電源を切りお買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ急に移動させたり、機器が温かい状態で設置箇所の冷房等を入れ、急速に機器周辺が冷却されたりすると、機器表面や内部に水滴が生じたり、保護パネル内側の面が曇ることがあります。
この現象を結露といい、故障ではありません。
しかし結露は、機器の故障の原因になることがあります。
結露が生じない場所に本機を設置してください。
結露が生じたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置してからご使用ください。

主な特長

アメリカ、カナダ、ヨーロッパの安全規格の取得

アメリカ UL60601-1、カナダ CSA C22.2 No.601.1、ヨーロッパ EN 60601-1 の安全規格を取得したモニターです。
シートスイッチや画面保護パネルなど、お手入れしやすい設計です。

画像

高性能 I/P（インターレースからプログレッシブ）コンバーター搭載

LMD-2140MD にはソニーオリジナルの X アルゴリズム技術を使った高性能 I/P コンバーターを搭載しています。
この技術により動画の上下、対角線方向の画素を結びつけ、動画も静止画もきめ細かい自然な画像で表示することができます。

フルデジタル処理回路

デジタル信号はもちろんのこと、アナログ信号も入力直後にデジタル変換し、すべての信号処理がフルデジタル回路で行われ、劣化のない画像が実現しました。

2 カラー方式

NTSC、PAL の 2 つのカラー方式に対応しており、入力信号に合った方式で画像を再現します。

オートクロマ・フェーズ機能を標準装備

デコーダーのクロマやフェーズを自動調整するオートクロマ・フェーズ機能を標準装備しています。

高画質 LCD パネル

高輝度、高解像度、超広視野角技術により、様々な照明環境や使用形態（壁掛け、画像監視のため複数台の使用など）でお使いいただけます。また、色再現範囲の広いカラーフィルターや高速に反応する液晶材料を採用したことにより、ビデオ信号の動画像もより鮮明に再現されます。

入力

アナログ RGB 入力信号対応

スキャンコンバーターを内蔵し、HD15 入力端子に入力された VGA、SVGA、XGA、SXGA のアナログ RGB 信号を表示することができます。

DVI-D（デジタル）入力信号対応

スキャンコンバーターを内蔵し、DVI 入力端子に入力された VGA、SVGA、XGA、SXGA のデジタルコンピュータ信号を表示することができます。
DVI 入力で SXGA 信号を使用するときは 3m 以内のケーブルをご使用ください。

ビデオ信号用オプションスロット構造

別売りの入力アダプターを 2 枚搭載することが可能です。コンポジット、Y/C、コンポーネント、アナログ RGB、SDI (シリアルデジタルインターフェース) または DV 信号を各アダプターの入力数に応じて入力することができます。

マルチフォーマット

NTSC、PAL の 2 つのカラー方式や 720P、1080I などの各種 DTV フォーマットに対応でき、切り換えは自動です。

外部同期信号入力端子

外部同期信号発生器などからの同期信号を入力できます。

機能

APA(Auto Pixel Alignment) 機能

HD15 入力端子に入力された信号に対して、APA キーを押すだけで最適な画面サイズに調整できます。

自動終端解放（-ᐱᐯ- マークの付いた端子のみ）

後面の入力端子は、出力端子に何も接続していないときは、内部で 75Ω で終端されています。出力端子にケーブルが接続されると、内部の終端が自動的に解放され、入力端子に入力された信号が出力端子に出力されます（ループスルー）。

色温度／ガンマ切り換え機能

「高」、「低」、「低 2」、「低 3」の 4 つの色温度とあらかじめ設定された 5 つのガンマを用途やお好みに応じて選択することができます。色温度は好みに応じて「ユーザー設定」で変更することもできます。

アスペクト切り換え機能

入力ビデオ信号に応じて 4:3 と 16:9 の画角を切り換えることができます。

スキャン切り換え機能

画像のスキャンサイズを変更することができます。モードは「ノーマル」、「アンダー」、「オーバー」、「ズーム」、「ネイティブ（NTSC、PAL、480/60I、575/50I）」から選択できます。

多言語メニュー表示

メニュー画面より、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、日本語、中国語の 7ヶ国語から選んで画面を表示することが可能です。

パワーセーブ機能

入力信号がないときなど自動で消費電力を抑える状態に入ります。

キーロック機能

各種調整キーの誤操作を防ぐため、調整キーをロックできます。

ユーザーメモリー機能

お好みに応じた画質の設定を、最大 20 種類まで名前をつけて本体にセーブすることができます。また、ユーザーメモリーに記憶されたデータは、本体とシリアルリモートで接続した外部機器（PC など）との間でセーブ、ロードをすることができます。

2 種類のアース端子搭載

機器間の電位を等しくするため、2 種類のアース端子を装備しました。

外部リモート機能

接続した外部機器からの操作で、選択したい入力やアスペクト等を直接選ぶことができます。

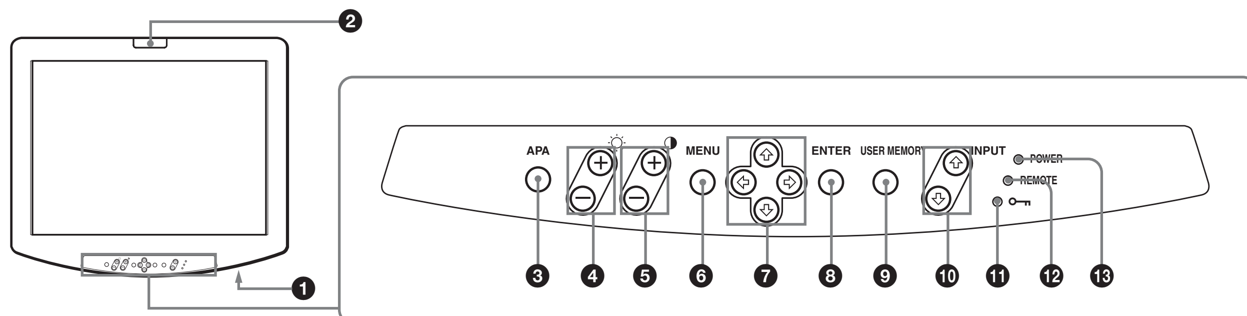
その他

別売りスタンド

卓上用に別売りのスタンド（SU-560）を用意しています。

各部の名称と働き

前面



❶ I/○（電源）スイッチ

スイッチを「I」にすると電源が入り、POWER インジケーターが点灯します。「○」にすると、電源が切れます。

❷ タリーランプ

タリー制御の配線をすることによって、ランプが点灯します。

◆ピン配列については「ピン配列」（29 ページ）をご覧ください。

❸ APA（Auto Pixel Alignment）キー

HD15 入力端子から信号を入力している際に、自動的にくっきり見える位置を得るために押します。入力信号によって微調整が必要な場合は、「ドットフェーズ」（22 ページ）をご覧ください。

APA 動作中に MENU キーを押すと操作を中止することができます。

メニュー画面が表示されているとき APA は機能しません。

❹ ☼（ブライト）調整＋ /－キー

＋：画面が明るくなります。

－：画面が暗くなります。

＋ / －キーを同時に押すと初期値に戻ります。

❺ ◑（コントラスト）調整＋ /－キー

＋：コントラストが強くなります。

－：コントラストが弱くなります。

＋ / －キーを同時に押すと初期値に戻ります。

❻ MENU（メニュー）キー

メニューを画面に表示したいときに押します。もう 1 度押すとメニューは消えます。

長押しすると「ユーザーサービス」メニュー（26 ページ）が表示されます。

◆メニュー操作に関しては「メニューの操作方法」（17 ページ）をご覧ください。

❼ ⬆/ ⬇/ ⬅/ ➡（矢印）キー

メニューに表示されるカーソルを動かすときや、項目の数値を変えるときに使います。

❽ ENTER（確定）キー

メニューの設定項目を確定するときに押します。

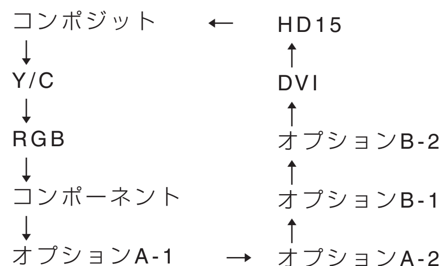
❾ USER MEMORY（ユーザーメモリー）キー

「ユーザーメモリー」メニュー（24 ページ）でセーブした画質の設定をロードするときに押します。

❿ INPUT（入力選択）⬆/ ⬇ キー

入力信号を選びます。⬆ キーを押すと映像信号が以下のように切り換わります。

⬇ キーを押すと逆に切り換わります。



ご注意

・「入力設定」メニューで「オフ」に設定した入力信号はINPUT キーでは選択できなくなり、スキップされます。選択するためには「オン」に設定してください。
・入力アダプターが取り付けられていないとき、「オプション」は自動的にスキップされます。

⓫ ○━ (キーロック)インジケーター

キーロックが働いているときに点灯します。

◆キーロックについては「リモートメニュー」(23 ページ)と「キーロックメニュー」(26 ページ)をご覧ください。

⓬ REMOTE(リモート)インジケーター

シリアルリモート(RS-232C)操作が可能なときに点灯します。

◆リモート操作については「リモートメニュー」(23 ページ)をご覧ください。

⓭ POWER(電源)インジケーター

電源を入れると、最初アンバーに点灯し、その後緑色に点灯します。パワーセービング(節電)状態のときはアンバーに点灯します。

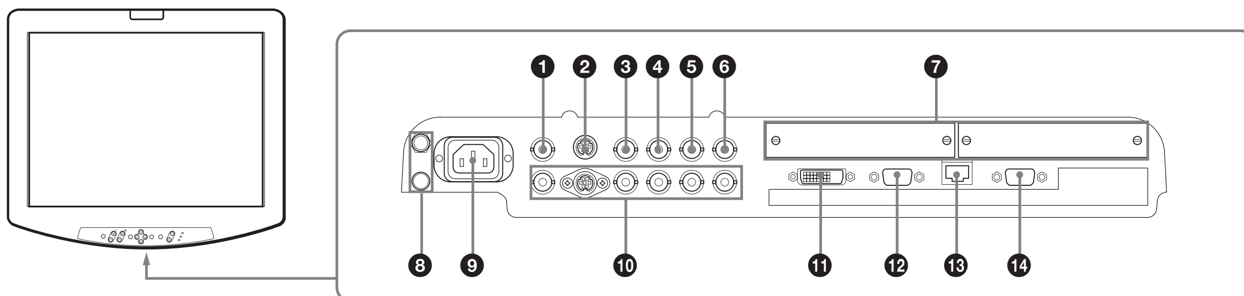
入力信号と調整・設定項目

項目	入力信号										
	ビデオ*1、Y/C*1	白黒信号*1	コンポーネント*2		RGB*2		SDI		DV*5	DVI	HD15
			SD	HD	SD	HD	D1*3	HD*4			
コントラスト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブライト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クロマ	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×	×
フェーズ	○ (NTSC)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
アパーチャー	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×
色温度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オートクロマフェーズ	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×	×
コンポーネントレベル	×	×	○(480/60I)	×	×	×	×	×	×	×	×
NTSC セットアップ	○ (NTSC)	○ (480/60I)	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ガンマ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スキャン*6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
アスペクト	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	×
APA	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
サイズ H	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
シフト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドットフェーズ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
パワーセービング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
映像ディレイ最小	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	×

○：調整・設定できる項目
×：調整・設定できない項目

*1 標準で入力可能です。BKM-227W を装着すると入力数を増やすことができます。
*2 標準で入力可能です。BKM-229X を装着すると入力数を増やすことができます。
*3 BKM-220D または BKM-243HS 装着時に入力が可能です。
*4 BKM-243HS 装着時に入力が可能です。
*5 BKM-255DV 装着時に入力が可能です。
*6 入力された信号によっては設定できない場合もあります。詳しくは 21 ページをご覧ください。

底面



❶ **COMPOSITE 端子（BNC 型）**
コンポジット信号の入力端子です。

❷ **Y/C 端子（4 ピンミニ DIN）**
Y/C 分離の入力端子です。

❸ **G/Y 端子（BNC 型）**
コンポーネント信号の Y（輝度）信号、RGB 信号の G 信号などの入力端子です。

❹ **B/PB 端子（BNC 型）**
コンポーネント信号の PB（青色差）信号、RGB 信号の B 信号などの入力端子です。

❺ **R/PR 端子（BNC 型）**
コンポーネント信号の PR（赤色差）信号、RGB 信号の R 信号などの入力端子です。

❻ **EXT SYNC（外部同期）端子（BNC 型）**
本機を外部同期で動作させるときに外部同期信号発生器などからの基準信号を入力します。
外部同期信号を使う場合は「ユーザー設定」メニューの「同期」で「外部」を選択してください（22 ページ）。

ご注意
本機へのビデオ入力信号は、TBC（タイムベースコレクター）を使用することをお勧めします。TBC を使用しないで入力すると画像が乱れることがあります。

❼ **入力オプションスロット**
別売りの入力アダプターを取り付けることができます。
INPUT キーを押して入力を選択することができます。

❽ **⏚/⏚（等電位／機能アース）端子**
⏚（等電位）端子
等電位プラグを接続します。
⏚（機能アース）端子
アース線を接続します。

❾ **AC IN ソケット**
付属の電源コードをつなぎます。

❿ **ループスルーアウト端子**
❶、❷、❸、❹、❺、❻ の各入力端子に入力された信号がそのまま出力されます。入力されている信号を確認して他の機器と接続します。
これらの端子にケーブルを接続すると、入力の 75Ω 終端が自動的に開放され、入力端子から入力された信号が出力されます。

⓫ **DVI 入力端子（DVI-D）**
DVI Rev. 1.0 準拠のデジタル RGB 信号を入力します。
DVI 入力で SXGA 信号を使用するときは 3m 以内のケーブルをご使用ください。

⓬ **HD15 入力端子 (HD D-Sub 15 ピン)**
アナログ RGB の映像信号（0.7 Vp-p、正極性）と同期信号を入力します。
プラグアンドプレイ（Plug & Play）機能は DDC2B に対応しています。

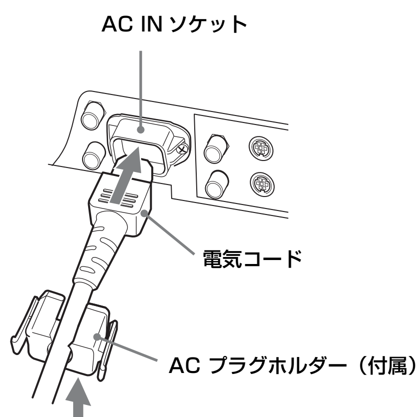
⓭ **PARALLEL REMOTE（パラレルリモート）端子（モジュラーコネクター8ピン）**
パラレルコントロールスイッチを接続してモニターを外部操作します。
◆ピン配置と出荷時の各ピンへの機能の割付について詳しくは、「ピン配列」（29 ページ）をご覧ください。

⓮ **SERIAL REMOTE (RS-232C) 端子（D-Sub 9 ピン）**
外部機器の RS-232C コントロール端子に接続します。
接続された外部機器よりコントロールコマンドを送ることで、モニターの操作を行うことができます。
◆ピン配置と各ピンへの機能の割付について詳しくは、「ピン配列」（29 ページ）をご覧ください。
◆詳しくは「プログラマー用インターフェース解説書」（付属の CD-ROM に収録、日本語と英語のみ）をご覧ください。

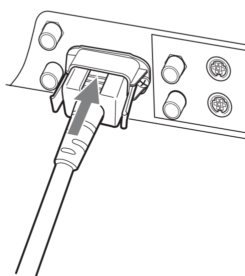
電源について

次のように電源コードを接続してください。
AC プラグホルダーは 2 つ付属されています。使用する電源コードのプラグが確実に固定できる方を選んでお使いください。

1 AC 電源コードを後面の AC IN ソケットに差し込み、AC 電源プラグホルダーを AC 電源コードに取り付ける。



2 固定レバーがロックするまで、AC 電源プラグホルダーをはめこむ。



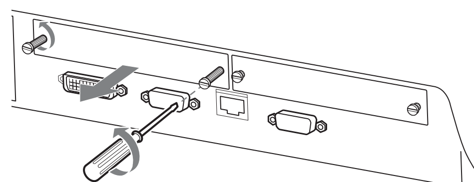
電源コードをはずすには

AC 電源プラグホルダーの固定レバーを両側からはさんでロックをはずし、引き抜きます。

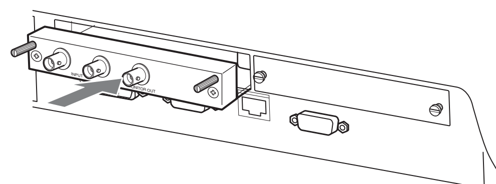
入力アダプターの取り付け

入力アダプターを取り付ける前に必ず電源ケーブルを抜いてください。
入力アダプターは入力オプションスロットのパネルをはずしてから取り付けます。

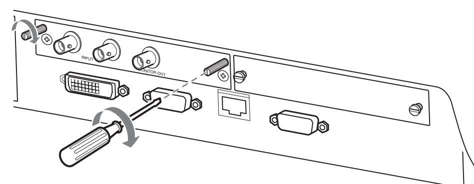
1 入力オプションスロットのパネルをはずす。



2 入力アダプターを入力オプションスロットに差し込む。



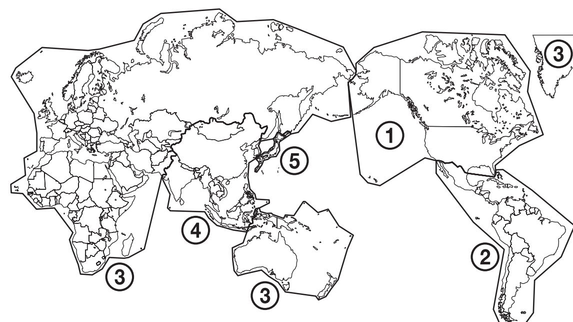
3 ネジで止める。



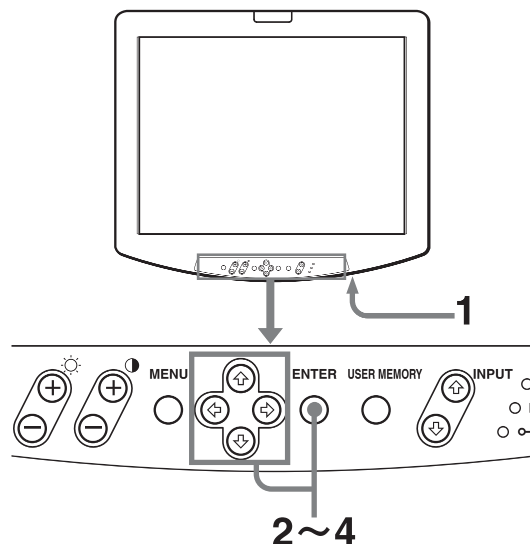
基本設定の選択

はじめてお使いになるときはお使いになる地域の選択を行ってください。
地域を選択すると、メニュー内の各項目がお使いの地域に合った値に設定されます。

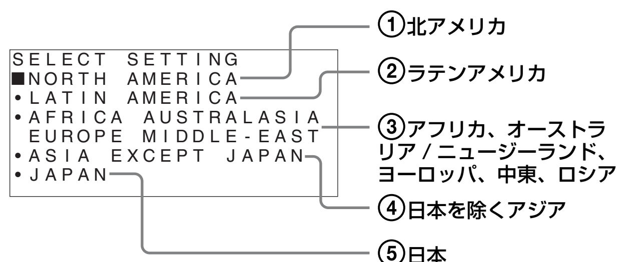
地域別基本設定値



		色温度	コンポーネントレベル	NTSCセットアップ
①NORTH AMERICA		Low	BETA7.5	7.5
②LATIN AMERICA PAL&PAL-N AREA	ARGENTINA	Low	SMPTE	0
	PARAGUAY	Low	SMPTE	0
	URUGUAY	Low	SMPTE	0
NTSC&PAL-M AREA	OTHER AREA	Low	BETA7.5	7.5
③AFRICA AUSTRALASIA EUROPE MIDDLE-EAST		Low	SMPTE	0
④ASIA EXCEPT JAPAN	NTSC AREA	Low	BETA7.5	7.5
	PAL AREA	Low	SMPTE	0
⑤JAPAN		High	SMPTE	0



1 POWER スイッチをオンにする。
本機の電源が入り、SELECT SETTING 画面が表示されます。



2 ⬆ または ⬇ キーを押して、本機をお使いになる地域を選び、ENTER キーを押す。

①、③、⑤ が選ばれたとき

確認画面が表示されます。地域が正しいことを確認してください。
間違っている場合は、MENU キーを押してひとつ前の画面に戻り設定し直してください。

```
SELECT THIS AREA?

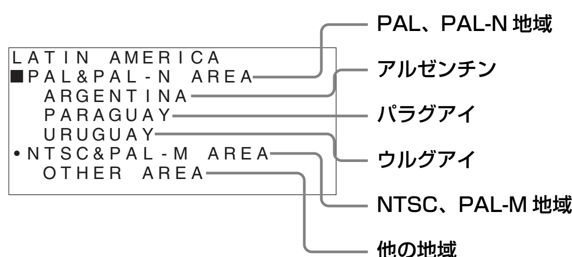
NORTH AMERICA

      [ENTER]YES
      [MENU]NO
```

②、④ が選ばれたとき

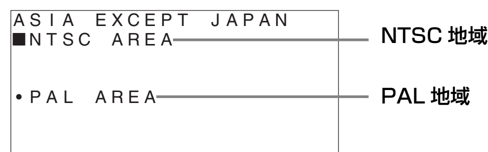
次の画面が表示されますので ⬆ または ⬇ キーで再度地域を選んで ENTER キーを押してください。
確認画面が表示されます。地域が正しいことを確認してください。
間違っている場合は、MENU キーを押してひとつ前の画面に戻り設定し直してください。

② LATIN AMERICA が選ばれたとき：

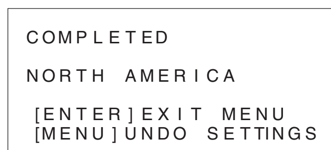


④ ASIA EXCEPT JAPAN が選ばれたとき：
下の地図でグレーに色付けされた地域でお使いの場合は、NTSC AREA を選んでください。
他の地域でお使いの場合は、PAL AREA を選んでください。





3 ENTER キーを押す。
地域設定が実行され、完了画面が表示されます。



やり直す場合は、MENU キーを押して前の画面に戻ってください。

4 ENTER キーを押す。
完了画面が消え、基本設定が終了します。

ご注意

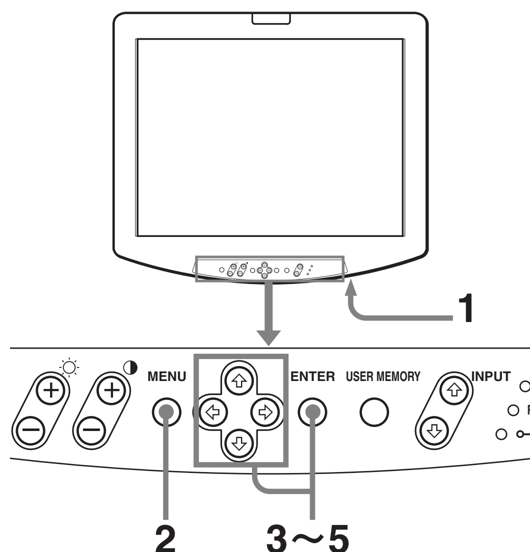
地域を間違えて設定した場合は、メニューで以下の項目を変更してください。

・色温度（20 ページ）
・コンポーネントレベル（26 ページ）
・NTSC セットアップ（26 ページ）

設定値については「地域別基本設定値」（15 ページ）をご覧ください。

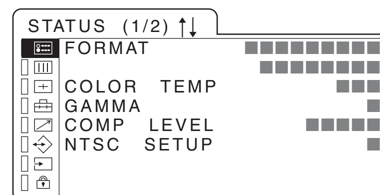
メニュー表示言語の切り換え

メニュー画面やメッセージの表示言語を 7 言語（ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、日本語、中文）の中から選ぶことができます。
メニューの言語は「ENGLISH（英語）」に初期設定されています。
メニュー画面のイラスト上の ■ マーク部分に現在の設定値が表示されます。

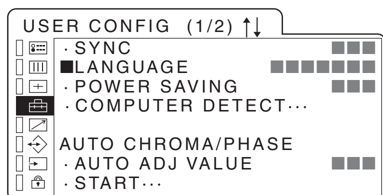


1 POWER スイッチをオンにする。

2 MENU キーを押す。
メニュー画面が表示されます。

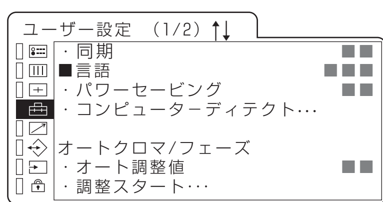


3 ↑キーまたは↓キーを押して USER CONFIG 1/2（ユーザー設定 1/2）メニューを選び、→または ENTER キーを押す。
選んだメニューの設定項目（アイコン）が黄色で表示されます。



4 ↑キーまたは↓キーを押して「LANGUAGE」を選び、→または ENTER キーを押す。
選んだ項目が黄色で表示されます。

5 ↑キーまたは↓キーを押して表示させたい言語を選び、ENTER キーを押す。
画面表示が選んだ言語に切り換わります。



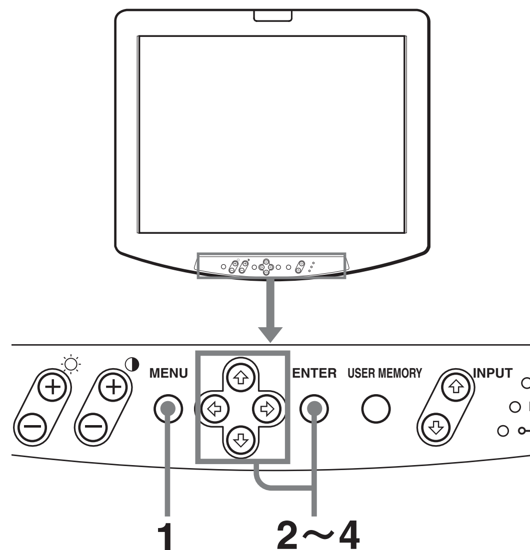
メニュー画面を消すには

MENU キーを押す。
約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

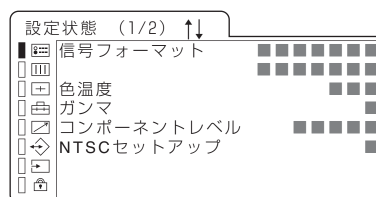
メニューの操作方法

本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。メニュー画面表示の言語を切り換えることもできます。
◆表示言語を変えるには、「メニュー表示言語の切り換え」（16 ページ）をご覧ください。

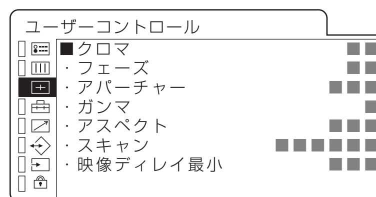
メニュー画面のイラスト上の■マーク部分に現在の設定値が表示されます。



1 MENU キーを押す。
メニュー選択画面が表示されます。



2 ↑キーまたは↓キーを押してメニューを選び、→または ENTER キーを押す。
選んだメニューのアイコンが黄色で表示され、設定項目が表示されます。



3 項目を選ぶ。
⬆キーまたは⬇キーを押して設定項目を選び、➡または ENTER キーを押す。
変更する項目が黄色で表示されます。

ご注意

項目が複数メニューページにおよぶ場合、⬆キーまたは⬇キーを押して必要なメニューページに入ります。

4 設定項目の調整や設定をする。
数値を変更する項目の場合：
数値を大きくするときは、⬆キーを押す。
数値を小さくするときは、⬇キーを押す。
ENTER キーを押すと確定されます。

設定を選ぶ場合：
⬆キーまたは⬇キーを押して設定を選び、ENTER キーを押す。

ご注意

設定項目で青色表示の項目はアクセスできない状態を意味します。白色表示にかわるとアクセスが可能になります。

メニュー画面を消す

MENU キーを押す。
約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

設定値をリセットする

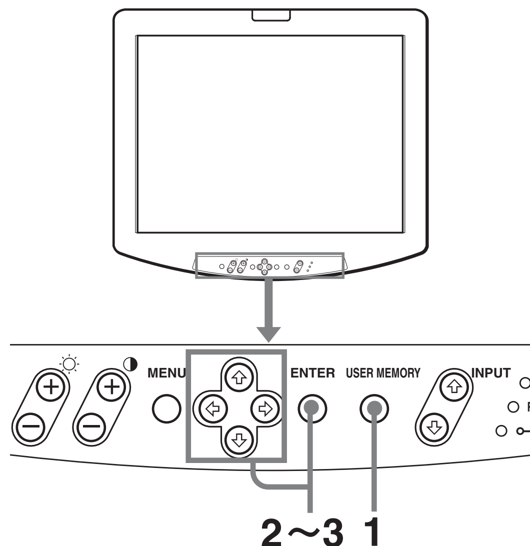
メニュー内の項目を調整中に⬆キーと⬇キーを同時に押すと調整前の値に戻ります。

ご注意

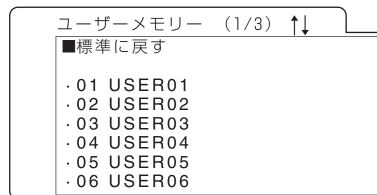
項目によっては上記説明と異なる操作があります。
メニュー画面下の動作説明に従って操作してください。

ユーザーメモリーのロード

「ユーザーメモリーのセーブ」（24 ページ）でセーブした画質の設定をロードすることができます。



1 USER MEMORY キーを押す。
「ユーザーメモリー」メニューが表示されます。



2 メモリー番号を選ぶ。
⬅または➡キー：ページを移動
⬆または⬇キー：メモリー番号を選択

3 ENTER キーを押す。
選択したメモリーから画質の設定をロードした後、メニュー画面が消えます。

メモリー選択を止めるには

USER MEMORY キーを押す。
「ユーザーメモリー」メニューが消えます。

表示画面を初期設定値に戻すには

「標準に戻す」を選び、ENTER キーを押す。

メニューを使った調整

項目一覧

設定状態（表示のみ）（20 ページ）

ビデオ入力のとき

信号フォーマット
色温度
ガンマ
コンポーネントレベル
NTSC セットアップ
機種名およびシリアルナンバー
オプション A およびシリアルナンバー
オプション B およびシリアルナンバー

DVI/HD15 入力のとき

信号フォーマット
水平周波数
垂直周波数
色温度
ガンマ
機種名およびシリアルナンバー
オプション A およびシリアルナンバー
オプション B およびシリアルナンバー

色温度（20 ページ）

色温度

ユーザーコントロール（20 ページ）

クロマ
フェーズ
アパーチャー
ガンマ
アスペクト
スキャン
映像ディレイ最小

ユーザー設定（22 ページ）

ビデオ入力のとき

同期
言語
パワーセービング
コンピューターディテクト
オートクロマ / フェーズ
シフト H
シフト V
リセット

DVI/HD15 入力のとき

同期
言語
パワーセービング
コンピューターディテクト
オートクロマ / フェーズ
サイズ H
シフト H
シフト V
ドットフェーズ
リセット

リモート（23 ページ）

パラレルリモート
シリアルリモート

ユーザーメモリー（24 ページ）

01 ～ 20

入力設定（25 ページ）

全リセット
本体入力
オプション

キーロック（26 ページ）

キーロック

ユーザーサービス（26 ページ）

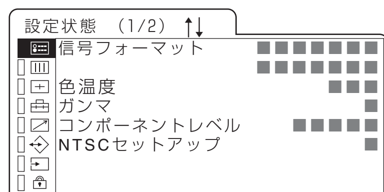
フォーマット表示
コンポーネントレベル
NTSC セットアップ
ユーザー色温度

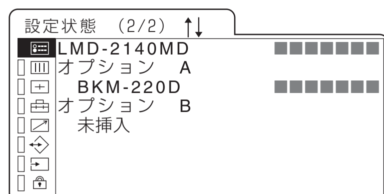
調整と設定

設定状態メニュー

本機の現在の設定状況を表示します。表示される項目は以下のとおりです。

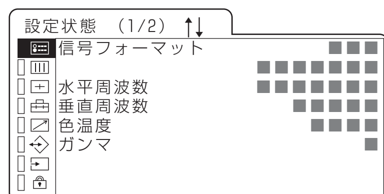
ビデオ入力のとき

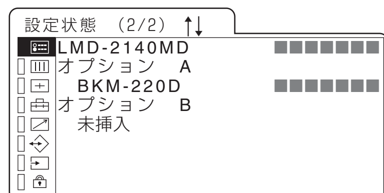




・信号フォーマット
・色温度
・ガンマ
・コンポーネントレベル
・NTSC セットアップ
・機種名およびシリアルナンバー
・オプション A およびシリアルナンバー
・オプション B およびシリアルナンバー

DVI/HD15 入力のとき

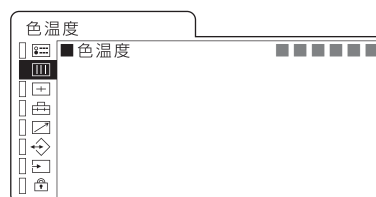




・信号フォーマット
・水平周波数
・垂直周波数
・色温度
・ガンマ
・機種名およびシリアルナンバー
・オプション A およびシリアルナンバー
・オプション B およびシリアルナンバー

色温度メニュー

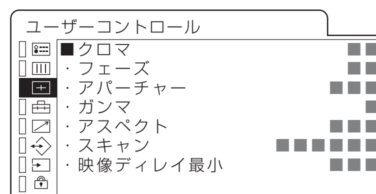
画質の色温度を選択するメニューです。



サブメニュー	設定
色温度	色温度を「高」、「低」、「低２」、「低３」、「ユーザー設定」から選択します。 ・**高**（D93 相当） ・**低**（D65 相当） ・**低２**（D56 相当） ・**低３** ・**ユーザー設定：**「ユーザーサービス」メニュー（26 ページ）で調整した色温度に設定します。「ユーザー設定」以外の設定では「ユーザーサービス」メニューでの色温度調整はできません。

ユーザーコントロールメニュー

画質を調整するメニューです。
入力信号によって調整できない項目は青色で表示されます。



サブメニュー	設定
クロマ	色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。
フェーズ	色相（色あい）を調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。
アパーチャー	シャープネスを調整します。設定値が大きくなるとくっきりします。
ガンマ	画像に合わせて最適な状態を選びます。5 段階の中から選ぶことができます。設定値が 3 のとき、CRT とほぼ同じガンマ（2.2）となります。

サブメニュー	設定
アスペクト	画面のアスペクト（縦横比）を選びます。DVD 機器などから 16：9（スクイーズ）信号を入力する場合、「16：9」に設定してください。 ・ **4:3:** 4：3 の映像を入力しているときに選びます。 ・ **16:9:** 16：9（スクイーズ）の映像を入力しているときに選びます。
スキャン	画像のスキャンサイズを変更することができます。モードは「ノーマル」、「アンダー」、「オーバー」、「ズーム」、「ネイティブ（NTSC、PAL、480/60I、575/50I のみ）」から選択できます（「スキャンモードイメージ」参照）。 **ご注意** 1035/60I の信号を入力したとき、映像のフォーマットは 1080/60I と表示されます。16:9 の画角内に 1035/1080 の比率で実際の映像が表示されるため、映像が縦にややつぶれて表示されます。この場合、「シフト V」（22 ページ）で画像位置をセンターにすることができます。
映像ディレイ最小（映像遅延最小）	NTSC、PAL、480/60I、575/50I の信号を入力したとき、機器内部の画像処理による遅延を最小にしたいとき設定します。 ・ **0**：画質優先のモードです（推奨モード）。動画および静止画の両方に適していますが、遅延時間は「1」または「2」に設定したときよりも長くなります。 ・ **1**：処理時間が短くなります。動画に適しています。 ・ **2**：処理時間が短くなります。静止画に適しています。

スキャンモードイメージ

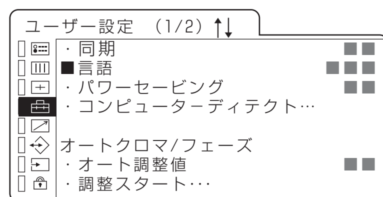
		入力信号	
		4 / 3	16 / 9
出力状態*1	ノーマル / オーバー スキャン *2	4 / 3	16 / 9
	アンダー スキャン *3	4 / 3	16 / 9
	ズーム	—	16 / 9
	ネイティブ *4	1024 / 768 / 533 / 711	1024 / 768 / 400 / 711

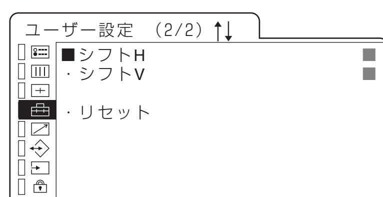
*1 図中、破線が入力信号、実線が有効表示画面サイズを表わします。
*2 ノーマル：7% オーバースキャン
オーバー：20% オーバースキャン
*3 -3% アンダースキャン
*4 NTSC、PAL、480/60I、575/50I を等倍イメージで表示するモードです。（イラストは 480/60I のときのイメージです。）

ユーザー設定メニュー

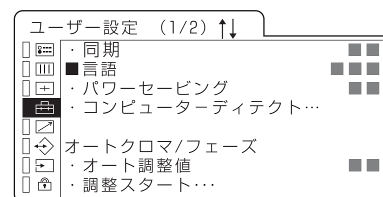
言語の選択などを設定します。
入力信号によって調整できない項目は青色で表示されます。

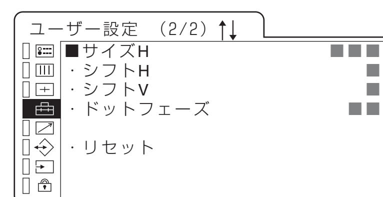
ビデオ入力のとき





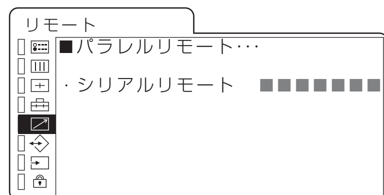
DVI/HD15 入力のとき





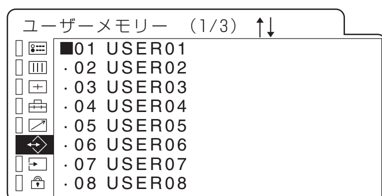
サブメニュー	設定
同期	同期信号を選択します。 ・ **外部**：EXT SYNC IN 端子に入力されている同期信号に同期するとき選択します。RGB 信号入力時は、「外部」が初期値になります。 ・ **内部**：モニターしている信号に含まれている同期信号に同期するとき選択します。
言語	メニュー表示やメッセージの表示言語を以下の 7 言語から選択できます。 ・ **ENGLISH**：英語 ・ **DEUTSCH**：ドイツ語 ・ **FRANÇAIS**：フランス語 ・ **ITALIANO**：イタリア語 ・ **ESPAÑOL**：スペイン語 ・ **日本語**：日本語 ・ **中文**：中国語
パワーセービング	節電モードのオン、オフの切り換えを設定します。「オン」に設定すると、本体に信号が入力されない状態が約 1 分以上続くと節電モードになります。
コンピューターディテクト	DVI 入力端子および HD15 入力端子から入力された PC 信号に対して適切なプリセットメモリーを設定します。標準的な PC 信号には「プリセット 1」を設定します。特殊な PC 信号に対しては「プリセット 2」、「プリセット 3」、「プリセット 4」より適当なものを選んでください（32 ページ）。 プリセットメモリーは DVI 入力端子、HD15 入力端子それぞれの端子ごとに設定できます。
オートクロマ／フェーズ	色の濃さ（クロマ）と色あい（フェーズ）を調整します。 ・ **オート調整値**：自動調整値のオン、オフの切り換えを設定します。「オフ」に設定するとクロマとフェーズの値が工場出荷値となり、「オン」に設定すると自動調整値になります。 ・ **調整スタート**：カラーバー信号（フル / SMPTE/EIA）を画面に出して、ENTER キーを押すと、自動的にオート調整が始まります。調整終了後、MENU キーを押して戻ります。調整が正常終了した場合、「オート調整値」は自動的に「オン」になります。 自動調整中に MENU キーを押すと自動調整を中止することができます。
サイズ H	画像の水平方向の大きさを調整します。設定値が大きくなると画面の水平方向の大きさが大きくなり、小さくなると画面の水平方向の大きさが小さくなります。
シフト H	画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。
シフト V	画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると下に移動します。
ドットフェーズ	位相を調整します。APA キーを押して調整した後、さらに画像をくっきりさせたい場合に調整します。
リセット	入力信号のサイズ H、シフト H、シフト V、ドットフェーズが出荷設定値に戻ります。

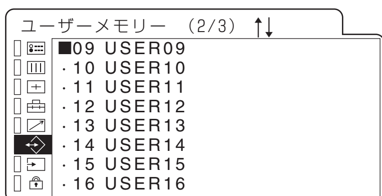
リモートメニュー

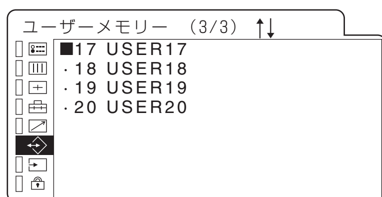


サブメニュー	設定
パラレルリモート	REMOTE 端子で機能を変更したいピンを選択します。 1 ～ 4、6 ～ 8 ピンに各機能を割り付けられます。割り付け可能な機能は以下のとおりです。 ・ - -（「- -」は機能の割付なし。） ・ コンポジット ・ Y/C ・ RGB ・ コンポーネント ・ DVI ・ HD15 ・ オプション A-1 ・ オプション A-2 ・ オプション B-1 ・ オプション B-2 ・ アンダースキャン ・ オーバースキャン ・ ズーム ・ ネイティブ ・ 4：3 ・ 16：9 ・ タリー ・ 外部同期 **ご注意** ・ パラレルリモートを使用する場合は、配線が必要です。詳しくは「ピン配列」（29 ページ）をご覧ください。 ・ 入力設定メニューで「オフ」に設定した入力は機能の割り付けはできますが、リモートを受け付けません。パラレルリモートで入力切り換えを行う場合は「オン」に設定してください（25 ページ）。
シリアルリモート	以下の 3 種類の中から、使用するモードを選択します。 ・ **リモートオフ：**シリアルリモートは使用できません。設定するときは前面パネルのキーを使ってください。 ・ **リモートオン：**シリアルリモートが使用できます。前面パネルではシリアルリモートの設定を変える操作以外はできません。 ・ **リモート & ローカル：**シリアルリモートと前面パネルのキーの両方が使用できます。 **ご注意** ・「リモートオン」のとき、前面パネルの REMOTE インジケーターと インジケーターが点灯します。 ・「リモート＆ローカル」のとき、前面パネルの REMOTE インジケーターが点灯します。

ユーザーメモリーメニュー







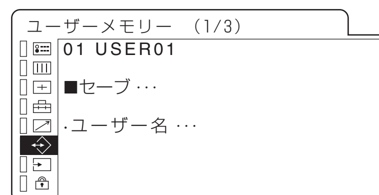
サブメニュー	設定
01 ～ 20	メモリー番号ごとに以下の設定をセーブすることができます。 「色温度」メニュー ・ 色温度 「ユーザーコントロール」メニュー ・ クロマ ・ フェーズ ・ アパーチャー ・ ガンマ ・ アスペクト ・ スキャン ・ 映像ディレイ最小 「ユーザーサービス」メニュー ・ ゲイン調整 ・ バイアス調整 前面キー ・ ☼（ブライト） ・ ◑（コントラスト）

ユーザーメモリーのセーブ

名前を付けて画質の設定を 20 までセーブすることができます。設定をロードするには「ユーザーメモリーのロード」（18 ページ）をご覧ください。

画質設定をセーブするには

1 「ユーザーメモリー」メニューで ↑ または ↓ キーを押して、設定したいメモリー番号を選び → または ENTER キーを押す。
ユーザーメモリーの設定画面が表示されます。



2 「セーブ」を選び、→ または ENTER キーを押す。
セーブ確認画面が表示されます。



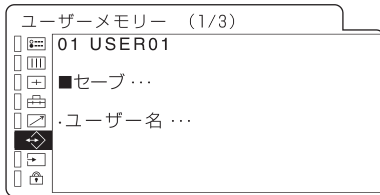
3 ENTER キーを押す。
現在の画質設定がセーブされ、設定画面に戻ります。

セーブしないときは

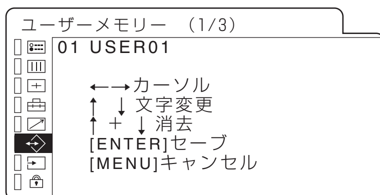
← または MENU キーを押す。
ユーザーメモリーの設定画面に戻ります。

ユーザー名を変更するには

1 「ユーザーメモリー」メニューで ⬆ または ⬇ キーを押して、設定したいメモリー番号を選び ➡ または ENTER キーを押す。
ユーザーメモリーの設定画面が表示されます。



2 ⬇ キーを押して、「ユーザー名」を選び ➡ または ENTER キーを押す。
ユーザー名の設定画面が表示されます。



3 ユーザー名を変更する。
- ⬅ または ➡ キーを押して変更したい文字にカーソルを動かす。
- ⬆ または ⬇ キーを押して文字を変更する。
  使用できる文字：「A~Z」、「0~9」、「.」、「/」、「,」、「_」、「-」、「(スペース)」
- 文字を消去したい時は ⬆ と ⬇ キーを同時に押す。

ユーザー名は 18 文字入力できます。

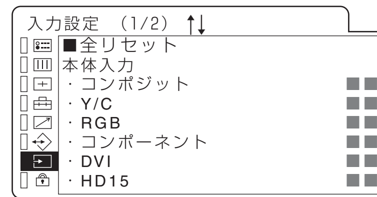
4 ENTER キーを押す。
設定が保存され、設定画面に戻ります。

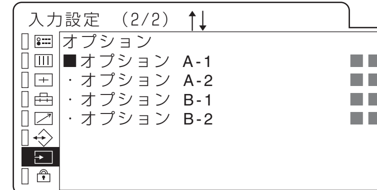
変更を保存しないときは

MENU キーを押す。
ユーザーメモリーの設定画面に戻ります。

入力設定メニュー

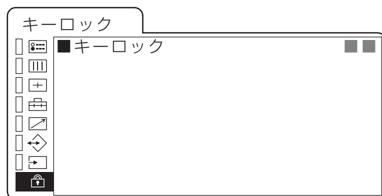
「オフ」に設定すると、INPUT キーを押したとき不要な入力信号をスキップすることができます。





サブメニュー	設定
全リセット	設定をすべて工場出荷時の値に戻します。
本体入力	「コンポジット」、「Y/C」、「RGB」、「コンポーネント」、「DVI」、「HD15」の入力の設定をします。 · **オン**：入力信号の選択が可能になります。 · **オフ**：入力信号の選択ができなくなります。 **ご注意** 本体入力をすべて「オフ」に設定することはできません。
オプション	入力アダプターの入力の設定をします。 · **オン**：入力信号の選択が可能になります。 · **オフ**：入力信号の選択ができなくなります。

キーロックメニュー



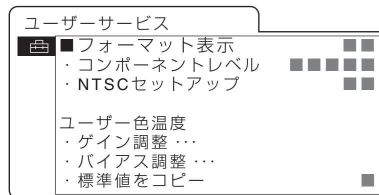
各種設定項目の変更が効かないように、キーロックを掛けることができます。
「オフ」あるいは「オン」を選択します。
「オン」に設定した場合、他のメニューの設定項目はすべて青色表示となり、変更できなくなります。
前面パネルではキーロックを「オフ」にする操作以外はできません。
「オン」に設定すると、前面パネルの O━ インジケーターが点灯します。

ご注意

「リモート」メニュー（23 ページ）で「リモートオン」に設定したときにも O━ インジケーターが点灯し、前面パネルのキーが使用できなくなります。この場合は「キーロック」メニューは「オフ」のままです。
前面パネルのキーを使用する場合には、「リモート」メニューで「リモートオフ」または「リモート＆ローカル」を選んでください。

ユーザーサービスメニュー

上記以外の調整、設定を行うためのユーザーサービスがあります。
「ユーザーサービス」メニューは、メニューが表示されていない状態で MENU キーを押し続けると表示することができます。
入力信号によって調整できない項目は青色で表示されます。



サブメニュー	設定
フォーマット表示	入力信号表示、およびフォーマット表示の設定を行います。 ・ **オン**：常に表示されます。 ・ **オフ**：表示されません。 ・ **オート**：INPUT 切り換え後、および信号入力開始後に約 10 秒間表示されます。
コンポーネントレベル	以下の 3 種類のなかから、入力されているコンポーネント信号の種類を選択します。 ・ **SMPTE**：100/0/100/0 のコンポーネント信号のとき ・ **BETA 0**：100/0/75/0 のコンポーネント信号のとき ・ **BETA 7.5**：100/7.5/75/7.5 のコンポーネント信号のとき
NTSC セットアップ	NTSC 信号のセットアップのレベルを選択します。日本は 0 で、アメリカでは 7.5 で運用されています。このため輸入ソフトには 7.5 のものがあります。
ユーザー色温度	「色温度」メニュー（20 ページ）で選択可能な「ユーザー設定」の色温度を調整します。「色温度」メニューが「ユーザー設定」以外に設定されているときには調整はできません。 色温度の調整には測定器が必要です。 推奨品：コニカミノルタ社製カラーアナライザー CA-210 ・ **ゲイン調整 ...**：カラーバランス（ゲイン）を調整します。 ・ **バイアス調整 ...**：カラーバランス（バイアス）を調整します。 ・ **標準値をコピー**：「高」、「低」、「低 2」または「低 3」を選択すると、選択された色温度のデータが、ユーザー設定にコピーされます。

故障かな？と思ったら

お買い上げ店などにご相談いただく前に、次の事項をご確認ください。

症状	操作
画面が緑色や紫色になる	INPUT キーを押して、正しい入力を選んでください。
画面の上下に黒い帯が出る	信号のアスペクトと LCD パネルのアスペクトが異なるときは、上下に黒い帯が出ますが、故障ではありません。
操作キーを押しても操作できない	キーロックが働いています。キーロックは「キーロック」メニューと「リモート」メニューのそれぞれの設定で動作します。 下記に従って、設定を切り換えてください。 **キーロック設定が「オン」になっている場合：**キーロック設定を「オフ」に切り換えます。 **シリアルリモート設定が「リモートオン」になっている場合：**「リモートオフ」または「リモート＆ローカル」に切り換えます。 **キーロック設定とシリアルリモート設定が両方「オン」になっている場合：**先にキーロック設定を「オフ」にし、シリアルリモート設定を「リモートオフ」または「リモート＆ローカル」に切り換えます。
画像が出ない	接続を確認し、「入力設定」メニュー（25 ページ）で設定を確認した後 INPUT キーを押して正しい入力を選んでください。
画像が乱れる	「ユーザー設定」メニュー（22 ページ）の「同期」で「外部」または「内部」を正しく選択してください。
「ファンエラー」の表示が出る	冷却用の内蔵ファンがなんらかの理由で動作していません。電源を切り、お買い上げ店かソニーサービス窓口にご連絡ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、所定事項の記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付ソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

主な仕様

画像系

LCD パネル　a-Si TFT アクティブマトリックス
有効画素率　99.99%
視野角（上 / 下 / 左 / 右、コントラスト >10:1）
89°/89°/89°/89°（typical）
スキャン　アンダースキャン　－ 3%
ノーマル　7%
オーバースキャン　20%
有効表示画面　約 430 × 322 × 537 mm
（幅×高さ×対角）
解像度　水平（最大）1,024 ドット
垂直（最大）768 ライン
アスペクト比　4:3
表示色　約 1677 万色

入出力

入力

コンポジット入力端子
BNC 型 (1)
1Vp-p ± 3dB 負同期
Y/C 入力端子　4 ピンミニ DIN (1)
Y：1Vp-p ± 3dB 負同期
C：0.286Vp-p ± 3dB (NTSC バースト信号レベル)
0.3Vp-p ± 3dB (PAL バースト信号レベル)
RGB/ コンポーネント入力端子
BNC 型 (3)
RGB 入力：0.7Vp-p ± 3dB
(Sync On Green 0.3Vp-p 負同期)
コンポーネント入力：0.7Vp-p ± 3dB
(75% クロミナンス標準カラーバー信号時)
外部同期入力端子
BNC 型 (1)
0.3 ～ 4Vp-p 正負両極性 3 値または負極性 2 値
リモート入力
パラレルリモート
モジュラーコネクター 8 ピン（1)
RS-232C（シリアルリモート）
D-Sub 9 ピン（1)
HD15 入力端子　HD D-sub 15 ピン (1)
R/G/B：0.7Vp-p、75Ω、正極性
(G チャンネルに負の同期信号がある場合は内部同期で使用可。0.3Vp-p)
同期：TTL レベル、2.2kΩ、極性自由
(水平 / 垂直分離及び複合同期信号)
プラグアンドプレイ機能 :DDC2B 対応
DVI 入力端子　DVI-D 端子 (1)
TMDS (Single link)

出力

映像出力端子　BNC 型（4)
ループスルー、75 Ω 自動終端機能付き
4 ピンミニ DIN (1)
ループスルー、75 Ω 自動終端機能付き
外部同期出力端子
BNC 型（1)
ループスルー、75 Ω 自動終端機能付き

その他

電源　AC100 ～ 240 V、50/60 Hz、
1.2 A ～ 0.6 A
消費電力　最大約 100 W（BKM-255DV × 2 装着時）
最大約 92 W（入力アダプター未装着時）
動作条件
温度　0 ～ 40 ℃
推奨使用温度　20 ～ 30 ℃
湿度　30 ～ 85% 以下 (結露のないこと)
気圧　700 ～ 1060 hPa
保存・輸送条件
温度　－ 10 ～ 40 ℃
湿度　0 ～ 90% (結露のないこと)
気圧　700 ～ 1060 hPa
付属品　AC 電源コード (1)
AC プラグホルダー (2)
取扱説明書 (1)
CD-ROM (1)
CD-ROM マニュアルの使いかた (1)
早わかりカード (1)
はじめてお使いになるときは (1)
問い合わせ先のご案内 (1)
保証冊子 (1)

別売りアクセサリー
SDI 4:2:2 入力アダプター
BKM-220D
HD/D1-SDI 入力アダプター
BKM-243HS
DV 入力アダプター
BKM-255DV
NTSC/PAL 入力アダプター
BKM-227W
アナログコンポーネント入力アダプター
BKM-229X
モニタースタンド
SU-560

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

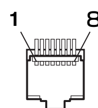
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

ピン配列

PARALLEL REMOTE 端子

モジュラーコネクター（8 ピン）

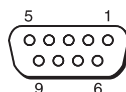


ピン番号	信号
1	入力信号 Y/C を指定
2	入力信号 RGB を指定
3	入力信号オプション A-1 を指定
4	入力信号オプション A-2 を指定
5	GND
6	タリーランプの ON/OFF
7	アンダースキャン
8	オーバースキャン

機能割り付けは、リモートメニューで変更できます（23 ページ）。
リモートコントロールで使用したい機能をアース（5 ピン）に接続します。

SERIAL REMOTE (RS-232C) 端子

D-Sub 9 ピン、メス



ピン番号	機能
1	NC
2	RX
3	TX
4	NC
5	GND
6	NC
7	RTS
8	CTS
9	NC

信号方式

本機は下記信号方式に対応しています。

入　力						
システム	総走査線数	有効走査線数	フレームレート *2	走査方式	アスペクト比	信号規格
575/50I(PAL)	625	575	25	2:1 インターレース	16:9/4:3	EBU N10 (PAL: ITU-R BT.624)
480/60I(NTSC)	525	483	30	2:1 インターレース	16:9/4:3	SMPTE 253M (NTSC: SMPTE 170M)
576/50P	625	576	50	プログレッシブ	16:9/4:3	ITU-R BT.1358
480/60P	525	483	60	プログレッシブ	16:9/4:3	SMPTE 293M
1080/50I	1125	1080	25	2:1 インターレース	16:9	SMPTE 274M
1035/60I *1	1125	1035	30	2:1 インターレース	16:9	SMPTE 260M/BTA S-001B
1080/60I	1125	1080	30	2:1 インターレース	16:9	SMPTE 274M/BTA S-001B
720/60P	750	720	60	プログレッシブ	16:9	SMPTE 296M

出　力			
システム	有効表示画素	フレームレート *2	走査方式
575/50I(PAL)	1024 × 576/1024 × 768	50	プログレッシブ
480/60I(NTSC)	1024 × 576/1024 × 768	60	プログレッシブ
576/50P	1024 × 576/1024 × 768	50	プログレッシブ
480/60P	1024 × 576/1024 × 768	60	プログレッシブ
1080/50I	1024 × 576	50	プログレッシブ
1035/60I *1	1024 × 576	60	プログレッシブ
1080/60I	1024 × 576	60	プログレッシブ
720/60P	1024 × 576	60	プログレッシブ

*1 画面上のフォーマット表示は 1080/60I と表示されます。
16:9 の画角内に 1035/1080 の比率で実際の映像が表示されるため、縦上部がやや潰れ下方向にずれて表示されます。
「シフト V」(22 ページ) で画面位置をセンターに合わせてください。

*2 フレームレート 1/1.001 にも対応します。

別売りの入力アダプターを装着したとき

下記信号方式に対応します。

BKM-220D/243HS 装着時

入　力			
システム	信号規格	BKM-220D	BKM-243HS
575/50I	ITU-R BT.656	○	○
480/60I	SMPTE 259M	○	○
1080/50I	SMPTE 292M	×	○
1035/60I *	SMPTE 292M	×	○
1080/60I	SMPTE 292M	×	○
720/60P	SMPTE 292M	×	○

BKM-255DV 装着時

入　力		
システム	信号規格	BKM-255DV
575/50I	IEEE 1394-1995	○
480/60I	IEEE 1394-1995	○

BKM-227W/229X 装着時

入　力			
システム	信号規格	BKM-227W	BKM-229X
575/50I	EBU N10	×	○
PAL	ITU-R BT.624	○	×
480/60I	SMPTE 253M	×	○
NTSC	SMPTE 170M	○	×
576/50P	ITU-R BT.1358	×	○
480/60P	SMPTE 293M	×	○
1080/50I	SMPTE 274M	×	○
1035/60I *	SMPTE 260M/ BTA S-001B	×	○
1080/60I	SMPTE 274M/ BTA S-001B	×	○
720/60P	SMPTE 296M	×	○

* 画面上のフォーマット表示は 1080/60I と表示されます。
16:9 の画角内に 1035/1080 の比率で実際の映像が表示されるため、縦上部がやや潰れ下方向にずれて表示されます。
「シフト V」（22 ページ）で画面位置をセンターに合わせてください。

プリセット信号について

本機は、DVI および HD15 端子に入力された信号について映像データをあらかじめプリセットしています。(プリセットメモリー)。
プリセットされた信号の入力時は、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータを呼び出し、最適な画面に調整します。
本機は下記のプリセット信号に対応します。

プリセット１

	プリセット信号		fH [kHz]	fV [Hz]
HD15	640 × 480	VGA モード 3	31.5	60
		VGA VESA 72Hz	37.9	72
		VGA VESA 75Hz	37.5	75
		VGA VESA 85Hz	43.3	85
		VGA Non-CRT	29.5	60
	800 × 600	SVGA VESA 60Hz	37.9	60
		SVGA VESA 72Hz	48.1	72
		SVGA VESA 75Hz	46.9	75
		SVGA VESA 85Hz	53.7	85
		SVGA Non-CRT	37.0	60
	1024 × 768	XGA VESA 60Hz	48.4	60
		XGA VESA 70Hz	56.5	70
		XGA VESA 75Hz	60.0	75
		XGA VESA 85Hz	68.7	85
		XGA Non-CRT	47.3	60
	1280 × 1024*	SXGA VESA 60Hz	64.0	60
		SXGA Non-CRT	63.2	60
	720 × 400	VGA TEXT	31.5	70
DVI	640 × 480	VGA VESA 60Hz	31.5	60
	1024 × 768	XGA VESA 60Hz	48.4	60
	1280 × 1024*	SXGA VESA 60Hz	64.0	60

VGA と SVGA、XGA、SXGA は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

＊SXGA はダウンコンバート表示です。

プリセット２

	プリセット信号	fH [kHz]	fV [Hz]
HD15	1514 × 483*	31.5	60
	1476 × 576*	31.3	50
DVI	1280 × 483*	31.5	60
	1280 × 576*	31.3	50

プリセット３

	プリセット信号	fH [kHz]	fV [Hz]
HD15	720 × 483	31.5	60
	720 × 576	31.3	50
	1280 × 720*	45.0	60
	1280 × 720*	37.5	50
DVI	720 × 483	31.5	60
	720 × 576	31.3	50
	1280 × 720*	45.0	60
	1280 × 720*	37.5	50

プリセット４

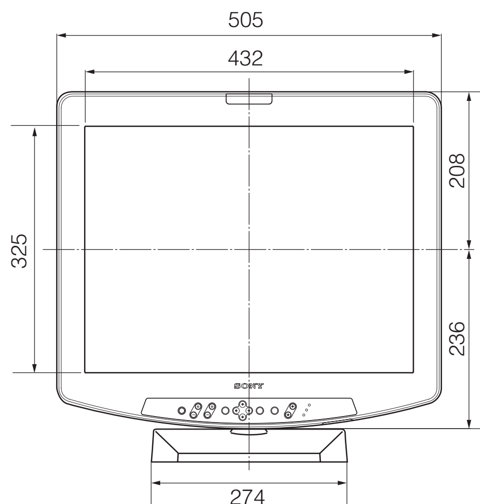
	プリセット信号	fH [kHz]	fV [Hz]
HD15	640 × 480	31.5	60
	1024 × 768	48.4	60
	1280 × 960*	60.0	60
DVI	640 × 480	31.5	60
	1024 × 768	48.4	60
	1280 × 960*	60.0	60

＊ダウンコンバート表示です。

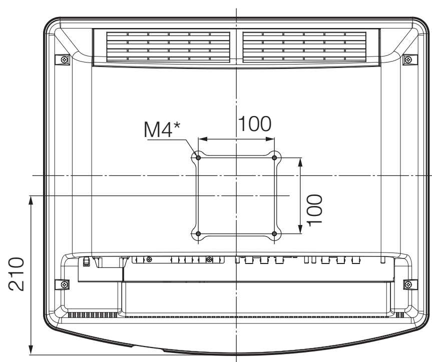
寸法図 / 重量

前面

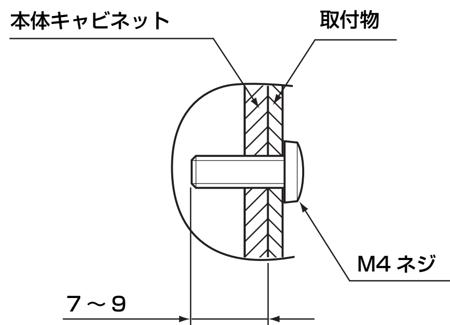
別売りスタンド SU-560 を取り付けたとき



背面

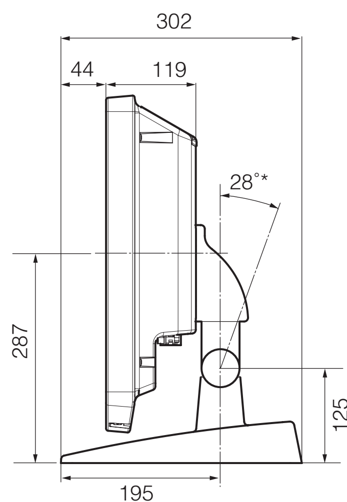


＊ M4 ネジの長さ（4 か所）



側面

別売りスタンド SU-560 を取り付けたとき



単位：mm

* チルト角度

重量

約 9.3kg（入力アダプター未装着時）
約 9.8kg（BKM-255DV × 2 装着時）

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1